

Z-Works

ヘルスケア IoT×AIの取り組み
オープンイノベーション



株式会社Z-Works



Z-Worksのミッション

ヘルスケア IoT × AI

社会課題を、テクノロジーで解決策を提案

すべてのひとのQoL向上を目指します
(Quality of Life : 生活の質)

高いQoLを維持 人生100年

報道資料



平成28年2月1日

I-Challenge!の補助金交付決定 ～「がんばらない介護」を実現するIoT支援ツールの開発～



■研究開発機関名：株式会社Z-Works
(交付決定額：27年度分 56,329,000円、28年度分 10,016,000円)



居室異常アラート通知



そもそもスタートアップとは？

市場があるのかどうかもわからない

破壊的イノベーション

オープンイノベーション

大企業のアセット
+
スタートアップのとりくみ

破壊的イノベーションをともに生み出す
革新的なビジネスモデルを生み出す

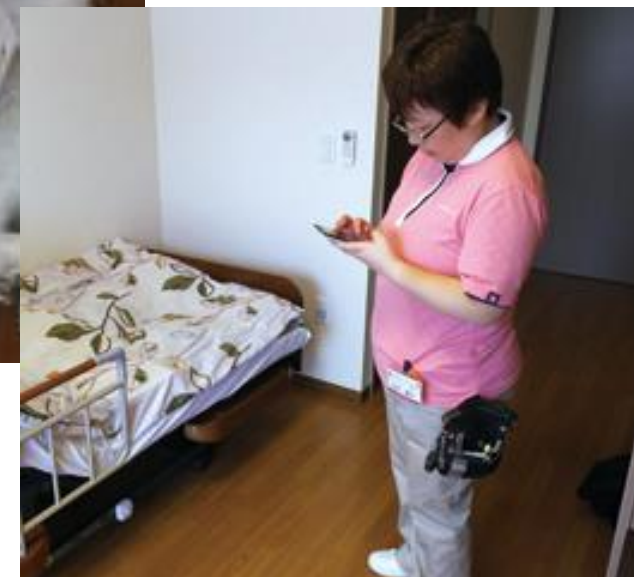
ベッドバイタルレーダー

非接触型（肌に触れない）

- ベッドの在・不在検知
- 心拍・呼吸（安静時）
- 睡眠時間



介護施設130箇所 導入実績





介護支援システム LiveConnect Facility

ゲートウェイ経由でZ-Worksのクラウドサービスへ送信



Z-Works IoT Cloud

スタッフへのアラート通知

各種データ蓄積
高齢者さまの生活リズム
介護作業・スタッフ行動履歴

居室内の異常を複数のセンサーが検知

- 離床行動の検知
- 居室やトイレでのうずくまり検知
- 居室温度異常検知
- ひとり歩き検知
- 心拍数・呼吸数の大幅な変動
- 夜間行動の検知



施設内PCにインストールされたLiveConnect Facilityアプリがスタッフへ通知

サイネージ画面による居室・高齢者の状態可視化



室温・ドアの開閉状態を表示

居室状態のメッセージを表示

居室内の状態の表示



居室に誰がいることを表示（背景緑）



居室に誰もいないことを表示（背景白）

ベッド上の状態の表示



ベッド上にいることを表示（背景緑）



ベッドから離床したことを表示（背景赤）

その他の異常を表示



居室内で発生した各種異常を表示（背景赤）

少子高齢化社会の課題



介護認定高齢者

630万人

スタッフがいない 極度の人手不足

介護現場は在宅へ

親と同居して介護をつづけていく

年間10万人

家族の介護を理由に離職



親が介護になったらもう遅い

介護予防が最重要

アクティブシニア

3200万人



在宅

400
万人



施設

160
万人

在宅



社会課題の抜本的解決へ



アクティブシニア・在宅介護支援が効果的

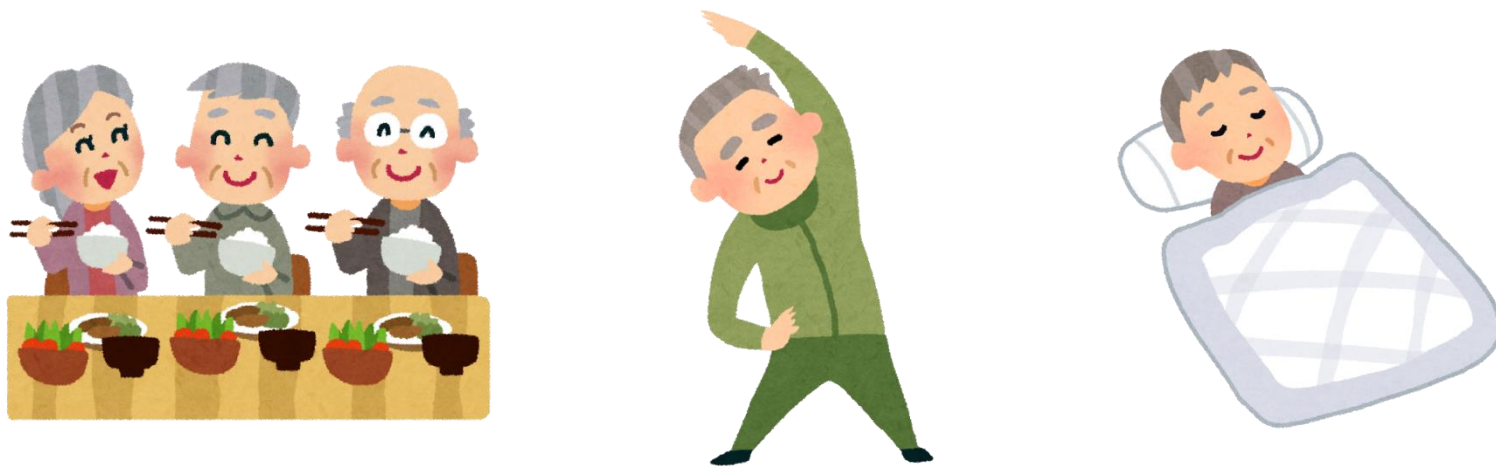
高齢者の**プライド**を保ち、QoLを維持する



健康寿命延伸をサポート

IoT x AI での的確なケア・コミュニケーションを実現

食事・運動・睡眠



認知症・寝たきり予防

IoT×AIを導入！

高齢者の日々の生活



高齢者の様子・体調
身体機能・認知機能



家族
訪問スタッフ

そのときの主観データ



Z-Works AI



居室内センサー

毎日の客観データ

家事・食事

入浴・排泄

移動・睡眠

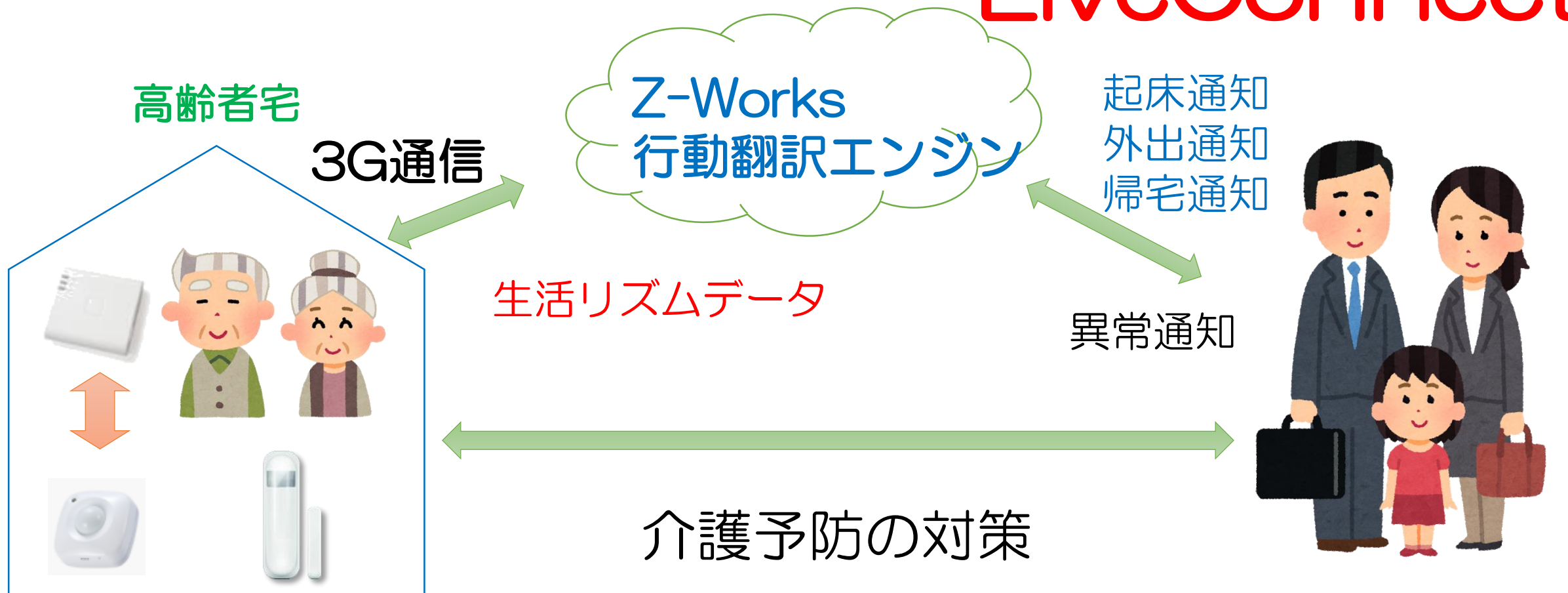
外出頻度

居室温度

問題行動

高齢者の状況をその都度通知

LiveConnect



勤務中の家族
遠隔地に住む家族

オープンイノベーション

予算

組織づくり

スピード感の共有